

都心の真ん中で東京の農林水産業を応援、そして全国の農業もPR JA東京アグリパークがオープン！

JA東京アグリパーク概要

- 場 所／東京都渋谷区代々木2-10-12
JA東京南新宿ビル1階
- アクセス／JR新宿駅南口から徒歩4分
- 営業時間／11～19時 ■定 休 日／毎週月曜日

東京の農業をはじめ、林業や水産業を一般に向けて情報発信しPRする拠点として、4月18日(火)「JA東京アグリパーク」が東京新宿にオープンしました。週ごとに各種イベントが開催され、JA東京グループを中心に全国の農業団体による農産品等の展示や販売、イベントが行われています。

東京の農林水産物、そして全国の農業の発信拠点としてスタート

日本一の利用者数を誇る新宿駅からほど近いビルの1階にあるJA東京アグリパークでは、JA東京グループの各JAや都内の市町村・関係団体が、それぞれの農産物のPR拠点としてその展示や試食、販売のほか、農業体験などのイベントも行われます。そして、農地が無く農業が遠い存在となっている新宿や都心の消費者に対して、農産物とともにそれが都内でも生産されていることを伝えて地産地消につなげることも目的としています。

また、都心の立地を生かして、全国各地から展示PRを行う産地の出展(店)も募っており、5月9～14日には全国の先陣を切って『よかもんうまかもん！くまもともんマルシェ』（くまもと農畜産物販売強化推進本部主催）が行われ、熊本県の各JAの農産物や農産加工品のPR販売が行われました。



JA東京アグリパーク

日本トマトフェスタ開催で、全国有数の産地がトマト、ミニトマトを試食、販売

5月23日(火)～28日(日)の週は『日本トマトフェスタ』（日本トマト振興協会主催）が行われ、栃木や愛知、熊本など全国有数のトマト産地が試食等を通じたトマト、ミニトマトのPRや販売を行いました。

愛知県（あいち経済連）ではカラフルなミニトマトを色別に味比べすることができ、また栃木県（JA全農とちぎ）では桃太郎トマトを使った簡単ジュースで食味のPRを行うほか、熊本県（JA熊本経済連）は塩トマト、宮崎県（JA日向）は水を絞って栽培したフルーツトマトの試食販売が行われました。

その他、カゴメ(株)ではスポーツ時に水分補給として食べるトマト「ちいさなももこ」やアミノ酸の一種GABAが多く含まれミニトマトの試食販売も併せて行われていました。



JA熊本経済連のPRコーナー

好立地の拠点を、有効に活用できるか？

この施設はJA東京中央会が所有しており、前述のとおり東京都内の産地PRが優先となりますが、全国の地域や産地もPRのために利用することができます。また、立地のとおり通行量は都内屈指で、平日は仕事帰りのサラリーマンやOLの方が、そして休日には観光客の来場が多いことから、幅広い層へのPRも可能と考えられます。さらに、アクセスの利便性を生かして流通や販売、飲食の業界関係者に向けた（を招待した）商談会会場としても活用が可能で、1階で展示PR、3階の貸会議室でじっくり商談、という流れも有効だと考えられます。

本県についても、県域または各地域や産地がJA等と連携し、野菜のみならず、農産物全般や農産加工品などにおいて大消費地東京の中心で効果的な情報発信に活用することが期待されます。



豊富な日照時間と適した土壌で栽培した味の濃さが自慢の栃木県産「桃太郎トマト」